

模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

世界史B

センター試験・第4問 問7

問7 下線部⑦について述べた次の文a～cが、年代の古いものから順に正しく配

列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

- a スエズ運河が開通した。
- b アメリカ合衆国で、テネシー川流域開発公社(TVA)が設立された。
- c ナセル大統領の下で、アスワン=ハイダムの建設が目指された。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

第1回ベネッセ・駿台マーク模試・第5問 問8

問8 下線部⑧の歴史について述べた次の文a～cが、年代の古いものから順に正

しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

44

- a イスラエルと平和条約を締結した。
- b ナセル大統領が、スエズ運河の国有化を宣言した。
- c ワフド党が結成された。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

今回のセンター試験の世界史B第4問問7では河川や水路にかかわる出来事について年代順に正しく配列したものを選ぶことが求められた。解答に際しては、「スエズ運河が開通」「アスワン=ハイダム」といったキーワードに着目して、それぞれどの時代の出来事なのかを想起する必要があった。エジプトをはじめとした中東地域での出来事を時代ごとに整理しておきたい。そのうえで、本問ではアメリカの歴史事項も扱われていることから、横並びで他地域の様子も併せて帝国主義、戦間期、戦後と大きな流れの理解が求められた。

第1回ベネッセ・駿台マーク模試の第5問問8でも過去のセンター試験でもよく扱われるエジプトをはじめとした中東地域での出来事を扱い、センター試験同様に年代順に正しく配列したものを選択させる出題をした。ここでも「スエズ運河」のほか、「ワフド党」「イスラエルと平和条約」といったキーワードに着目し、それぞれどの時代のキーワードであるか判断する必要があった。いずれの設問もテーマに沿って歴史を概観する力を求めており、授業や教科書で学んだ内容を関連付けて考えたり、歴史の大きな流れとして考察することが必要である。なお、本問(模試)の正答率は33.7%で、誤答の選択肢4のマーク率が21.0%であった。「スエズ運河」の判別に苦戦したことがうかがえる結果であった。基本事項の確実な定着を促し、習得内容を有機的につないでより深く考える力を育みたい。